

# 庄内町立図書館だより

## よめっちゃん

(本をたくさん  
「読んでね」との願いを込めて)

2016.5.25(No.13)



### 新着図書コーナーのご案内!

ご存知の方もいるかと思いますが、図書館初心者の方にぜひ知っていただきたい! 図書館に来たら、まずはカウンター正面の新着図書コーナーをチェック! 毎週火曜日に新しい本を追加しています。



←一般向けは  
カウンター向かい



児童向けは子ども読書室入口→

雨の日、記念館でのお散歩はいかが?

## 庄内町内藤秀因水彩画記念館

開催中の展覧会をご紹介します(会期: 7月15日(金)まで)

第97回 収蔵品展

### 憧憬

異国への旅



内藤 秀因「ヴェニス」

今回の収蔵品展のテーマは「ヨーロッパの風景」。内藤秀因氏は生涯に数度渡欧し、ギリシャ、フランス、イタリア、スペイン、ドイツ、トルコなど、欧州各地の風景を描きました。本展では1960年代の作品を中心に約50点をご紹介します。



櫻井 金一「小出沼の葉さくら」

## 余目水彩画会 絵画展

同時開催の特別展では、余目水彩画会会員の作品をご紹介します。水彩画ならではのやさしくみずみずしい表現が見どころです。絵に込められた一人ひとりの思いを感じてみてください。

### 図書館カレンダー

★開館時間

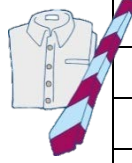
平日 午前9:00~午後7:00

土日 午前9:00~午後5:00

⇒休館日

6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		



7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						



○おはなしらんどポップコーンによるおはなし会

6/15(水)・7/20(水)10時~ 図書館ホール

お子さん、お孫さんと一緒に絵本の読み聞かせや紙芝居などを楽しみませんか? 申込み不要。お気軽にどうぞ!

## 書庫にも本があるって 知ってますか?

新刊も良いけれど、書庫には普段表には出ていない本たちが、約6万冊収蔵されているんですよ。一般閲覧室の入口脇にあるパソコンでお目当ての本を検索し「閉架」と表示が出たら職員まで声をかけてね。なつかしいあの本と再会できるかも! 貸出中の場合、このパソコンから予約もできます。(別途インターネットサービス利用申込みが必要です。)

図書館	場所	状態
庄内町立図書館	閉架書庫1	貸出できます



~QRコード

ご利用ください~

←スマートフォン用

携帯電話用→



お問い合わせ 図書館・内藤秀因水彩画記念館

43-3039

分館 56-3308

図書館 HP → <http://www.town.shonai.lg.jp/library/>

# 職員オススメ！ズバリ☔雨☔

雨っていうだけで気がめいりますよね。でもそんな日は家でのおんびりリラックスしてお気に入りのカップ片手に読書しましょう



## 『続・宮澤賢治のヒドリ なぜ賢治は涙を流したか』

和田文雄／著(コールサック社)

宮澤賢治の代表作として知られる「雨ニモマケズ」の詩の一節にある「ヒデリトキハナミダヲナガシ」の『ヒデリ』が実は賢治の死後に発見された手帳には『ヒドリ』と記してあったという事実をあなたはご存じだろうか。「ヒデリ・ヒドリ論争」は賢治の研究者の間では今も続いている。



「ヒドリ」に込められた賢治の思いとその背景を当時の東北地方の社会状況や農民の窮状や賢治研究の資料を基に解説している。3. 11の東日本大震災で絶望している東北の人々を励まし、ワシントンの国立大聖堂の追悼式で英訳詩が朗読され、全世界に知られるようになった「雨ニモマケズ」にまつわる賢治の世界に浸るのもいかがでしょうか。



「ヒドリ」に込められた賢治の思いとその背景を当時の東北地方の社会状況や農民の窮状や賢治研究の資料を基に解説している。3. 11の東日本大震災で絶望している東北の人々を励まし、ワシントンの国立大聖堂の追悼式で英訳詩が朗読され、全世界に知られるようになった「雨ニモマケズ」にまつわる賢治の世界に浸るのもいかがでしょうか。

雨って、畑やお肌には潤いを恵んでくれるから悪いことだらけじゃないですよ！雨上がりに虹が見えたらそれだけでハッピー♪

雨音♪を聞きながら…こんな本はいかがですか？まずは、雨→“かたつむり”つながりで(少々強引)『食堂かたつむり』(ポプラ社)。著者の小川糸さんは、我が山形県出身。



作品内に登場するレシピ本まであります→『食堂かたつむりの料理』(ポプラ社)。親子で読んで欲しいのは、『雨、あめ』(評論社)。ある雨の日の姉と弟の一日を、絵のみで表現。作者ピーター・スピーアの緻密なデッサン力と自在な色彩に、何度も見入ってしまう傑作絵本。暮らしや季節をぜひ本を通して楽しんでくださいね。



## たんぼのカエルのだいへんしん

内山 りゅう／写真・文(ポプラ社)

お～たまじゃくしはカエルの子♪…わかってはいても、ツルっとしたおたま



じゃくしの体から足が突き出てくる瞬間の写真にはギョッとしました。まさに大変身！11種類のカエルたちを捉えた迫力ある写真は見ごたえ十分。ここまで大胆に体の形

が変わるなんて不思議…。外に出て本物のカエルも見よう！「ふしぎいっぱい写真絵本シリーズ」はこの他に17冊所蔵しています。



## かさ 太田大八／作(文研出版)

雨ふりの日、女の子が“大好きなある人”を駅まで迎えにいくはなしです。全頁本文がなく、無彩色で描かれた光景のなか、女の子のかさだけが赤く彩られているのが印象的です。表現が限定されていることにより想像の余地が生まれ、作品を読み返すたびに異なる



「音声」が聞こえてきます。本誌でほかに紹介されている絵本『雨、あめ』と読みくらべてみても面白いですよ。



イン・ザ・プール 奥田英朗／著(文藝春秋)  
常にストーカーから見張られていると主張する売れないコンパニオン、煙草の火で自宅が燃える妄想から逃れられない記者など、人は常に固定観念という名の枠から外れる

事を恐れ、苦しむものです。そんな彼らを診察する神経科医伊良部(いらぶ)は、やる事なす事ハチャメチャ過ぎるトンデモ医師。しかし、その理解不能な行動の数々で、患者たちはいかに自分の目に何も見えていなかったのか気づくこととなります。雨の憂鬱を晴らすのに最適な短編集です。



## おじさんのかさ 佐野洋子／作・絵(講談社)

ピカピカでりっぱな傘、大事すぎて濡らしたくないのはわかる。でもそれって……けれど、ある日たのしそうな歌につられてついに傘をひらくことに！おじさんはハッピーな気分になったが、やっと使ってもらった傘だって嬉しかったはず！！  
道具は使ってこそ価値が上がるものですよ！  
今年はわたしも新しい傘買っちゃおうかな～



こちらで紹介した本はすべて庄内町立図書館にございます。貸出し中の場合は予約もできますので、お気軽にお問合せください♡